

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年10月4日

【会社名】 K u d a n株式会社

【英訳名】 Kudan Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役CEO 項 大雨

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区渋谷二丁目10番15号

【電話番号】 03-4405-1325

【事務連絡者氏名】 執行役員CFO 中山 紘平

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区渋谷二丁目10番15号

【電話番号】 03-4405-1325

【事務連絡者氏名】 執行役員CFO 中山 紘平

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、2021年10月4日付の当社取締役会において、Artisense Corporation（以下「アーティセンス社」といいます。）の株式の取得（以下「本株式取得」といいます。）を決議いたしました。本株式取得により、特定子会社の異動及び子会社取得に該当するため、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号及び第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 特定子会社の異動（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号に基づく報告内容）

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容
(Artisense Corporation)

(2021年10月4日現在)

名称	Artisense Corporation
住所	Silicon Valley 555 Bryant Street PMB Palo Alto, CA 94301
代表者の氏名	CEO Daiu Ko
資本金の額	5,985,334米ドル（658百万円）
事業の内容	空間・位置認識ソフトウェアに関する研究開発、販売

(注) ()内は1米ドル109.94円換算（表示単位未満切り捨て。2021年9月10日時点の為替レート）

(Artisense GmbH)

(2021年10月4日現在)

名称	Artisense GmbH
住所	Ungererstrasse 175 80805 München Germany
代表者の氏名	CEO Daiu Ko
資本金の額	25,000ユーロ（3百万円）
事業の内容	空間・位置認識ソフトウェアに関する研究開発、販売

(注) ()内は1ユーロ129.89円換算（表示単位未満切り捨て。2021年9月10日時点の為替レート）

(2) 当該異動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

(Artisense Corporation)

当社の所有に係る当該特定子会社の議決権

異動前：8,661,528個

異動後：23,186,268個

総株主等の議決権に対する割合

異動前：37.4%

異動後：100.0%

(Artisense GmbH)

当社の所有に係る当該特定子会社の議決権

異動前：0個（うち間接所有：0個）

異動後：23,186,268個（うち間接所有：23,186,268個）

総株主等の議決権に対する割合

異動前：0%（うち間接所有：0%）

異動後：100.0%（うち間接所有：100.0%）

(3) 当該異動の理由及びその年月日

異動の理由

当社は、2021年10月4日付の当社取締役会において、アーティセンス社の株式の追加取得を決議いたしました。これにより同社及び同社の子会社であるArtisense GmbHは当社の連結子会社となることとなり、アーティセンス社についてはその資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため、Artisense GmbHについては同社の当社に対する売上高が当社の仕入高の100分の10以上に相当するため、両社は当社の特定子会社に該当することとなります。

異動の年月日

2021年10月26日から2021年12月24日（予定）

2. 子会社取得の決定（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2に基づく報告内容）

(1) 取得対象子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	Artisense Corporation
本店の所在地	Silicon Valley 555 Bryant Street PMB Palo Alto, CA 94301
代表者の氏名	CEO Daiu Ko
資本金の額	5,985,334米ドル（658百万円）
純資産の額	6,797,189米ドル（747百万円）（2020年12月31日現在）
総資産の額	14,000,763米ドル（1,539百万円）（2020年12月31日現在）
事業の内容	空間・位置認識ソフトウェアに関する研究開発、販売

(注) 1 アーティセンス社は、Artisenseグループの管理機能を主とする持株会社であるため、単体での純資産の額及び総資産の額の記載は省略しております。アーティセンス社は、Artisense GmbH及びArtisense Japan株式会社を子会社として保有しておりますが、各子会社と連結決算を行っていないため、アーティセンス社の純資産の額及び総資産の額に、同社の子会社の純資産の額及び総資産の額をそれぞれ単純合算した数値を記載しております。

2 ()内は1米ドル109.94円換算（表示単位未満切り捨て。2021年9月10日時点の為替レート）

(2) 取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期
売上高	46,383米ドル (5百万円)	248,003米ドル (27百万円)	545,477米ドル (60百万円)
営業利益	1,941,035米ドル (213百万円)	4,183,389米ドル (459百万円)	3,435,243米ドル (377百万円)
経常利益	1,941,901米ドル (213百万円)	4,256,210米ドル (468百万円)	4,110,789米ドル (452百万円)
純利益	1,941,921米ドル (213百万円)	4,256,675米ドル (468百万円)	4,111,363米ドル (452百万円)

(注) 1 アーティセンス社は、Artisenseグループの管理機能を主とする持株会社であるため、単体での財務数値の記載は省略しております。アーティセンス社は、Artisense GmbH及びArtisense Japan株式会社を子会社として保有しておりますが、各子会社と連結決算を行っていないため、アーティセンス社の財務数値に、同社の子会社の財務数値を単純合算した財務数値を記載しております。

2 ()内は1米ドル109.94円換算（表示単位未満切り捨て。2021年9月10日時点の為替レート）

(3) 取得対象子会社と提出会社との資本関係、人的関係及び取引関係

(2021年10月4日現在)

資本関係	当社はアーティセンス社の普通株式3,927,148株及び優先株式4,734,380株(2021年6月30日時点の発行済株式総数の37.4%)を保有しております。
人的関係	当社の代表取締役CEOである項大雨は、アーティセンス社の取締役CEOを務めております。
取引関係	当社及びアーティセンス社は業務提携契約その他業務提携に必要な各種契約を締結しております。

(4) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、自動運転・ロボティクス・AR/VR・ドローンなどを応用分野として、空間・位置認識を行う人工知覚アルゴリズムを提供しており、カメラを用いたIndirect Visual SLAMや、LiDARを用いたLiDAR SLAMを商用レベルで実用化することを強みとしています。

アーティセンス社は、世界有数の人工知能・コンピュータビジョンの研究グループを持つミュンヘン工科大学における同分野のリーダーであり、自動運転技術の第一人者として世界最高峰の研究実績(論文引用数32,000以上、h指数88)を有するDaniel Cremers教授と、連続起業家であるAndrej Kulikov氏が、2016年に共同創業しました。当該グループ企業は、カリフォルニア州シリコンバレー地域に拠点を置く親会社である米国法人、ミュンヘン工科大学や欧州自動車産業界と連携した研究開発を行うドイツ法人、アジアでの事業開発を担う日本法人のグローバル3社から構成されています。

アーティセンス社は、当社においても事業展開する空間・位置認識の技術分野にて、人工知能・コンピュータビジョンの研究開発と技術提供を行っており、中でもDirect Visual SLAMという当社とは異なるアプローチによるアルゴリズムを強みとしています。寡占化が進む同技術分野における有力企業同士のグループ化によって、当社は圧倒的な市場シェアの確保を企図しております。加えて、両社の技術連携により、お互いに得意とする技術が補完的に組み合わせられて性能が相乗的に向上し、より複雑な環境下での高度な空間・位置認識を実現することが見込まれ、当社がさらに技術主導で自動運転・ロボティクス・AR/VR・ドローンなどの市場成長の後押しを目指すことができます。

なお、2020年1月27日付で、当時の当社取締役COO(現当社代表取締役CEO)である項大雨がアーティセンス社取締役に就任し、またその後2020年7月31日付で同社取締役CEOに就任し、両社の提携を推進しております。

また、当社とアーティセンス社は、両社がそれぞれ得意とする技術分野を活かすと共に、両社が築いてきたグローバル拠点や販売チャネル等の経営資源を相互に活用し、それぞれの顧客に対して最適なサービスを提供することを可能とする事業開発体制の構築を一層推進するため、2020年5月18日付で業務提携に関する契約を締結しております。

当社は、これまでアーティセンス社との共同事業開発体制の拡大や両社における代表取締役の兼任を含む経営体制の部分的な統合等の経営統合を順調に展開してまいりました。この度、新型コロナウイルスの感染拡大による人と人の交流や共同作業を要しないオペレーションの省人化やリモート化需要の急増、AR/VR・自動運転・ロボティクス等の各注力領域における国内外の大手半導体・センサ企業等とのパートナーシップの拡大及び深化による事業機会の拡大を背景とし、当社は研究開発ロードマップの統合及びエンジニアリングリソースの最適化による共同技術開発の拡大、アーティセンス社経営メンバーであるDaniel Cremers教授の当社CSOへの就任を含む経営体制の完全統合の早期実施を決定し、これにより、顧客製品化の加速による収益拡大の早期化及び中長期的な収益機会の拡大を目指すことと致しましたので、2021年10月4日付の当社取締役会において、アーティセンス社株式を追加取得することを決議いたしました。

(5) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

アーティセンス社株式(概算額)	:	2,443百万円
アドバイザリー費用(概算額)	:	141百万円
合計(概算額)	:	2,584百万円